

令和6年度 浦安市立舞浜小学校 第2回 学校地域連携運営協議会の概要

日 時 令和6年12月4日(水) 10:00~12:00
場 所 2階 図書室
出席者 委員7名(欠席者1名)
西垣会長 古賀副会長 富山委員 武部委員 東委員 校長 教頭

- 次 第
- 1 開会
 - 2 学校長挨拶
 - 3 校内参観
 - 4 協議
学校評価について
(1) 教頭より説明
(2) 承認
 - 5 意見交換
 - 6 連絡事項
 - 7 閉会

= 協議における主な意見や感想 =

●学校評価アンケートについて

○全会一致で承認される。

アンケートの内容は他校の意見も取り入れて、比較しながら検討していけるとよい。

南小学校とアンケート項目について確認できる機会があるとよい。

= 意見交換 =

●協議会で承認の形をとるのであれば、議事録で回覧してほしい。

→次回の協議会の案内と一緒に、第1回及び第2回議事録を送付します。

●管理職は、最低でも3年間は同一校に残るよう教育委員会に進言したい。

・3年という期間については人事のサイクルもあるため一概には言えないが、長く管理職が変わらないというのもデメリットがある。

・管理職は1年目で課題を見つけ、2年目では改善しきれないこともあるので3~4年は同一校に必要だと思う。

●かもめ学級の職員を増やしたほうが良い。

・教室を飛び出してしまう児童がいたので、対応できる職員を増やしたい。

- かもめ学級の男性職員配置について
 - ・男子トイレに児童が閉じこもるケースへの対応のため必要である。
 - ・体力的に男性職員の力が必要ではないか。
 - ・協議会としては男性職員を中心に職員が増えるよう要望をあげていく。
(県費職員、市費職員ともに男女のバランスを考慮した配置をお願いしたい。)
- 体育館の扉の施錠が非常にやりにくく時間もかかるので、扉の交換をお願いしたい。
 - ・防災及び防犯上の問題もあるので、扉の取り換えを要望したい。
 - ・防災上の問題もあるので、学校の修繕費ではなく市にやってもらいたい。

＝ 校内参観の感想及び意見 ＝

- 図工の作品(絵画・立体)が素晴らしい。作品に対する子どもたちの前向きな様子が伝わった。
- 図工の作品では子どもたちの創造性の豊かさを感じた。
- 子どもたちの挨拶が多かった。子どもたちの人懐っこさを感じた。
- 教員は表情が少ない人もいた。教師の表情の大切さを感じた。
- 子どもの意見や気持ちを引き出すことに苦労している先生の姿が見られた。
- 絵の描き方が、自分が子供の時よりも進んでいると感じた。色彩や配色がとても良い。立体でも子どもたちのやる気を感じた。
- 子どもたちは時間を守って生活できていると感じた。
- 子どもたちの学習発表会の準備を見ていて、模造紙を使って自分たちの考えをまとめているのが良いと感じた。
- 下校時の見守りは今後も続けていきたい。
- 6年生のキャリア教育は、おやじの会はOBも含め多様な職種に就いている。集まらなくなっただけではなく、最初から声をかけてもらいたい。
- 委員として学校の実態を知る必要があるので、もっと学校に足を運びたい。
- 地域の人材を学校に生かしたい。日本舞踊、琴、生け花等(コロナ過の前には、これらを出来る人たちが学校で教えていた)
- 今後は特技を持つ人材をうまく学校に取り込んでいきたいので、学校地域連携運営協議会委員の持つ情報を活用していきたい。
- 学校支援コーディネーターに本協議会のオブザーバーとして入っていただき、地域の人材についての情報を伝えていく。
- 第3回の協議会ではコーディネーターの射矢さんにも会長が声をかけるので、学校からも案内を出してほしい。